

肝膿瘍における過粘稠性クレブシエラ菌の検出に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2025年1月29日～2025年12月31日

〔研究課題〕

肝膿瘍穿刺吸引検体を用いたPCR法による過粘稠性クレブシエラ菌の検出

〔研究目的〕

本研究では、肝膿瘍の起因菌の一つである過粘稠性クレブシエラ菌をPCR法で同定する手技を確立し、肝膿瘍の治療に有用な抗生物質の的確な選択を可能にすることを目的とします。

〔研究意義〕

過粘稠性クレブシエラ菌は肝膿瘍や菌血症、髄膜炎などの侵襲性感染症を生じやすい高病原性細菌で、台湾からアジア各国に拡散しています。菌の同定にPCR法を用いることでより迅速に菌の存在を同定し、治療に有用な抗生物質を的確に選択することが可能となります。

〔対象・研究方法〕

当院で2015年1月から2024年11月の期間に当院で肝膿瘍と診断された患者様を対象として、病理組織標本を後方視的に検索し、過粘稠性クレブシエラ菌に特異的に含まれる遺伝子の有無を検索します。研究にはこれまでに取り除かれた検体の病理標本を用いますので、対象となる患者様に新たに負担をお掛けすることはありません。

〔研究機関名〕 帝京大学ちば総合医療センター 病院病理部

〔個人情報の取り扱い〕 当院は、ヘルシンキ宣言および臨床研究に関する倫理指針に則り、患者様の人権を守るよう配慮して研究を行います。取り扱うデータは対象となる患者さんの、カルテ番号、年齢、診療情報（診断名、病状や治療期間、治療効果等）を使用し、お名前や住所、電話番号などが使用されることは一切ありません。研究に用いた情報は帝京大学臨床研究センターで10年保管の後、廃棄します。また用いた試料は病院病理部で5年間保管後に廃棄致します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者：氏名 山崎一人 職名：教授
所属： 帝京大学ちば総合医療センター病院病理部
住所： 千葉県市原市姉崎 3426-3 TEL：0436-62-1211(代表) [内線 1263]